



国政でも、  
地方政治でも

# 戦争の心配のない日本

# 暮らしに希望の取手市を

日本共産党



若者に平和な未来と希望の社会を

取手市20歳の集いに参加した青年たち  
= 1月8日、市民会館脇利根川堤防

この春の統一地方選挙は、岸田政権は「統一協会癒着」、「政治とカネ」など真相の徹底究明が求められる中、また軍事費GDP費2%へ2倍化、大增税と更なる社会保障の削減、本格的な「戦争国家づくり」に暴走するもとで行われます。4月23日投票の取手市長選と市議会補欠選挙は、この国の悪政から住民の命と暮らしを守る地方自治体の役割を取り戻し、憲法を壊す岸田政権への審判を下す選挙です。

日本共産党は、広範な市民と団体、他党派との共同で市政転換を目指します。

4月取手市議会議員補欠選挙

佐野太一さん  
たいち  
擁立



市議会議員補欠選挙に出馬予定の佐野太一さん

市議会補欠選挙で日本共産党は、佐野太一さんの擁立を決定しました。

コロナ禍と物価高から命と暮らしを守り、子育て、仕事、老後に安心と希望の取手市をめざし、市民の声で市政を動かす市議会へと全力を尽くします。

先の県議選後、多くの市民のみなさんから「大健闘だ、これからも頑張れ」など、あ

たたかい激励と今後への期待の声がよせられました。

佐野太一氏は、県議選での公約実現、「人に寄り添う政治」を目指し、住民に最も身近な市議会議員としてその役割を果たすことを決意しました。

県議選での皆さまのご支援ご協力に感謝いたしますとともに、引き続きご支援をお願いいたします。

2023年1月 日本共産党取手市委員会

## 皆さまのお力添えを

## お願い申し上げます。

県議選では皆さまの温かいご支援本当にありがとうございました。

残念な結果ではありましたが、無名の新人だった私が皆様から「よく頑張った」「もう少しだった」と言っていただけは、ひとえに皆様のご支援の賜物です。心より感謝申し

上げます。人に寄り添う政治を目指して、生きづらい世の中を少しでも変えたいと、4月に行われます取手市議会補欠選挙に挑戦することを決意いたしました。再び皆さまのお力添えを頂きたくご支援を心からお願い申し上げます。

佐野太一

## 命と暮らし第一 <市議選政策>①

### 皆さんと力を合わせ実現します。

#### ◎子育て支援3つの無料化

小中学校の 18歳までの 18歳までの

○給食費ゼロ ○医療費ゼロ ○国保・均等割ゼロ

#### ◎安心の医療・介護と交通

○医療・介護の負担軽減 ○コロナ対策 ○補聴器購入に補助

○コミバス拡充、乗り合いタクシー運行

#### ◎地場商工業・家族農業の支援拡充

地域経済の再生、生活密着型の安全な街づくり

○道路と排水・下水など生活密着型公共事業推進

○水害防止対策の拡充で安全・快適な街づくり

○中小、小規模事業振興基本条例の実効政策・計画推進

○家族農業支援拡充、地産地消、食料自給向上を図る

#### ◎市民主体の行政運営、ジェンダー平等社会の率先推進

人と動物との共生社会を進める。

○ワンストップ窓口を設置。

○多様な性を意識した制度をつくる

○犬猫の避妊去勢手術の助成拡充

### ●取手市の大型プロジェクト偏重が財政圧迫生活・福祉基盤後回しの政策転換を求める

取手駅西口・桑原2大開発への巨額税金投入で、道路や排水生活基盤整備は後回しで福祉諸制度は低下。既存の中小商店に更なる打撃、優良農地をつぶして食料自給の低下と災害リスクが拡大される。



取手市が2大重点課題とする工事の中の取手駅西口開発(新交通広場)後方に西口デッキとリボンビル  
= 1月17日撮影



水田約68haを巨大商業施設など開発予定の桑原地区(遠方に筑波山)  
= 1月17日撮影

# 大軍拡、大增税から平和と暮らしを守る

## 反戦平和の党 日本共産党

日米  
首脳会談

日本の防衛予算大幅増額

バイデン大統領称賛

岸田文雄首相は13日(日本時間14日未明)米ホワイトハウスでバイデン米大統領と会談。国会にもはからず日米共同で敵基地攻撃を行うことを首脳レベルで合意。岸田氏が「防衛力の抜本的強化」と「防衛予算の相当な増額」の決意を述べ、バイデン氏は日本政府の大軍拡を称賛しました。

### 10兆円超える大軍拡 23年度予算案

GDP比1%以内としていた軍事費を5年間で倍増を狙う岸田政権。閣議決定した2023年度当初予算案の軍事費は過去最大の6兆8219億円。24年度以降への繰入れ額を加え10兆円を超える空前の歴史的な大軍拡です。



### 戦争のないアジアと日本を

岸田政権の「戦争国家」づくりに抗議し、憲法活かす外交で平和をつくろうと党市議団と佐野太一氏(中央)=1月13日、取手駅東口

### 違憲の敵基地攻撃兵器トマホーク導入

違憲の敵基地攻撃兵器ミサイル・トマホーク導入に、バイデン氏は支持を表明し、共同声明は「核を含むあらゆる能力」を用いた「日本防衛」に関与すると表明。「米軍の指揮統制のもと、自衛隊が敵

基地攻撃能力を使って相手国に攻め込むことを公然と宣言したもの(14日志位和夫委員長談話)と述べた通り、日米軍事同盟の侵略的大変質に他なりません。

### 「コロナ禍」と物価高で大軍拡、大增税と社会保障削減

大軍拡の財源は、増税と赤字国債、社会保障予算は引き続く削減と負担増、年金給付はさらなる減額。コロナ対策も「第8

波」の感染拡大中にもかかわらず、疲弊する医療・介護現場の窮状にコロナ無策が過去最大の死亡者数を記録しています。



"新しい戦前"にしてはならない...

### 各界から強い懸念と異議

「来年は、新しい戦前になるのではないのでしょうか」(昨年12月28日タレントのタモリさん)の発言に「"新しい戦前"にさせない為に」との共感がネット上で広がりま

した。元自民党総裁の河野洋平氏は、7日放送のTBS系報道番組で、敵基地攻撃、大軍拡に対して「この政策転換というのはあり得ない」と強い異議を唱えました。

### 力合わせ、小中学校の学校給食費無償化、国保・高齢者医療費負担の引き下げを

小中学校の学校給食費を無償にする自治体が、全国各地で急速に広がっています。

茨城県でも6市町が無償化、水戸市は中学校のみ無償、期間限定での無償化は、日立市や龍ヶ崎市など5市。ところが取手市は2年前、無償化の流れに逆行して1ヶ月200円値上げしました。日本共産党は、物価高騰の中、子育て支援として、給食費無償化を引き続き市に

求めています。また、全国8位の財政力がある茨城県に対して、市民団体との共同で、学校給食費の無償化を求める署名を集め、大井川知事に提出する予定です。合わせて、大幅黒字の国民健康保険税の引き下げ、高齢者医療費負担の軽減を求めています。



「コロナ禍」物価高 命と暮らし第一へ市政の転換を求めます 日本共産党

コロナの感染は、取手市内でも医療機関や介護施設などでクラスターが発生、全国の死亡者数の過去最多を更新する深刻な事態です。

日本共産党は、桑原での大規模な新市街地計画や取手駅西口開発偏重の街づくりを見直し、コロナから市民の命と暮らし、営業を守る施策を求めてきました。

藤井市長の4期16年、公共施設の使用料と諸申請手数料、給食費の値上げを行い、県南水道企業長として23%の水道料金値上げなど、市民に負担増を求めてきました。そればかりか、学校統廃合と公立保育所の廃止・民営化、保育士の非正規化など、少子化を促進する誤った政策をトップダウンで強行してきました。

市長選挙目前の3月議会は、藤井市長下での最後の議会となるよう臨みます。コロナと物価高から命と暮らしを守る市政へ、給食費無償化・国保の均等割り全額免除、医療の負担軽減をはじめ子育て世代や高齢者の切実な願いに応える施策を求め全力を尽くします。



左から、関戸勇・加増みつ子市議、佐野太一氏、遠山ちえ子・小池えつ子市議